

洛北SSHだより

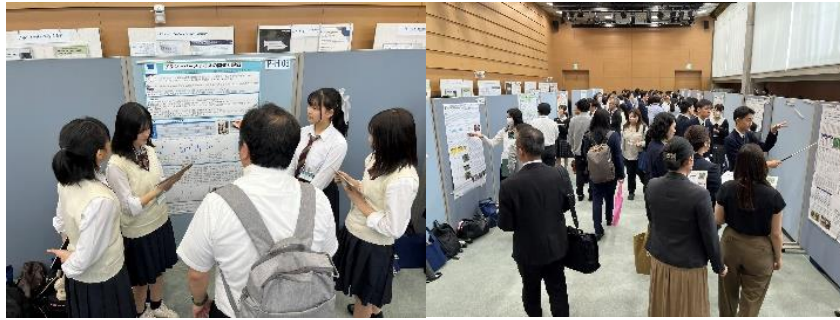
令和7年7月11日発行
第4号
総務企画部



「洛北 SSH だより」では、本校 SSH 事業の取組や様々な情報を発信しています。

1 第31回日本食品化学学会 高校生によるポスター発表に参加

6月6日(金)に、立命館大学びわこ・くさつキャンパスにおいて開催された日本食品化学学会第31回総会・学術大会の高校生によるポスター発表に、昨年度の課題探究Ⅱ化学ゼミの「プラントベースアイスの開発と評価」のチームが参加しました。大学の先生方や企業の方々に対しても堂々と発表し、多くの学びを得ることができました。学会発表は大学の先生や学生、企業の方々にコメントをいただける貴重な機会です。今、探究をしている皆さんも、チャンスを逃さず、こうした場に積極的に参加してください！



2 みやこサイエンスフェスタ

6月8日(日)に京都大学百周年時計台記念会館において、スーパーサイエンスネットワーク京都校9校が研究成果を交流する「みやこサイエンスフェスタ」に参加しました。昨年度の課題探究Ⅱ生物ゼミの「ダンゴムシの好む香気成分の同定～彼らはビール愛好家～」、数学ゼミの「プラナリア数～複数の累乗数に区切られる累乗数～」の2チームが発表しました。2チームとも奨励賞を受賞し、今後につながる貴重な発表会となりました。なお、生物ゼミのチームは、8月に全国の SSH 校が集う、SSH 生徒研究発表会に参加します。今回で得た成果を活かして臨んでほしいと思います。



3 「学びのWEB ラボ」始まりました

6月18日(水)から京都府教育委員会主催の「学びの WEB ラボ」が始まりました。この取組は、オンラインでの交流をベースに様々な専門家の方々と探究を進めていくものです。洛北高校からは、「人工生命」「プログラミング」「サイバーセキュリティ」「文化財」のラボにそれぞれ希望する生徒が参加しています。学校に居ながらにして、学校ではできない学びをたくさん獲得してほしいと思います。



4 本校は京都府立大学、総合地球環境学研究所と連携協定を締結しています！

令和7年4月から新たに京都府立大学と本校の間で高大連携協定が締結されました。この協定は、京都府立大学と本校が組織的に連携することにより、探究学習における支援や指導等を通して相互交流を深め、本校の教育活動をさらに充実・発展させることを目的としています。

また、平成28年から続く総合地球環境学研究所との連携協定についても、延長が決定しました。引き続き、人的及び知的交流を積極的に行い、環境教育の実施・研究開発を推進し、相互の研究・教育の一層の進展と社会の発展を目指していきます。

5 高1文理コース 文理探究Ⅰ

今年度から1年生の文理コースでは週1回、文理探究Ⅰの活動に取り組んでいます。高校2年生で本格的な探究活動に入る前に、基礎的なスキルや力を身に着けることが目標です。7月までは、研究の手法や仮説の立案、発表資料の作り方を講義やワークショップ形式で学んできました。夏休み明けからはいよいよ、文系テーマ1つ、理系テーマ1つのミニ探究活動が本格的にはじまります。ここまでに学んだことを活かして、テーマに基づいた仮説を立て、解明するためにどのように実験や調査をすればよいかを考え、実際に自分達の手で試行錯誤しながらやってみる過程をぜひ楽しんでほしいと思います。



6 京都マス・フェス 2025★1st ステージ 京都・大阪マス・インターセクション募集中！

京都府では、「面白い」「興味深い」問題を web に掲載して回答を募集する「京都マス・フェス」を毎年実施しています。かつてテスト形式のコンテストをしていたなごりで、たくさん解けば優秀賞やアイデア賞がもらえます。

毎年、洛北生が賞をもらっています。我こそはという生徒はチャレンジしてみてください。附属中学生もチャレンジ可です。詳細は教育委員会 HP(右記の二次元コード)で確認してください。なお今年は難易度のバラツキが少なく、全部の問題が同難易度であるようです。たくさん解くチャンス！

★期間：7月8日(火)13:30～ 2週間程度

★解答送付：総務企画部(藤岡先生)まで紙で提出 または web で直接提出

★解説：8月中旬からオンデマンドで動画を視聴可能。申し込みが必要なので総務企画部まで来てください。



7 【高校1, 2 年生対象】第2回サタデープロジェクトの募集を開始しました！

第2回サタプロ(9/13)の募集が始まりました。今回は理系5、文系3の計8講座が開講されます。今号が発行される頃には、もしかしたら満員になっている講座もあるかもしれませんが、Classi 等のお知らせにアンテナを張りながら、希望する講座に出しそびれることがないように注意してください。多くの生徒の参加をお待ちしています。

A「水の中で起こる不思議な化学の世界を見てみよう」

E「だれかのためのデザイン」

B「廃材から色が生まれる？科学とアートの実験室」

F「洛北古典漫遊【校外】

C「必勝法」

G「青年海外協力隊・理科数科教師の2年間」

D「キャベツのクローンを作る～植物組織培養～」

H「原著で読むユヴァル・ノア・ハラリの世界」